

エックス線検査における Q & A

令和4年7月16日発行

放射線技術科

Q 1

先日、エックス線の検査を受けたんですが、つづけてエックス線による検査を受けても大丈夫ですか？



胸部CT検査

エックス線を受ける前に被曝の説明を受けたり、それについての同意書を書いたり、検査に対して不安を感じる事もあるでしょうが、通常のエックス線検査（CTを含む）を続けて受けても、身体的な影響を受けることはありませんので安心して検査を受けてください。

Q 2 痛い側からレントゲンを撮って欲しいのに…。

脊椎の真横を撮る際に、「痛いココなので、こっちから撮らなくていいの？」と心配がよく聞かれますが、情報量がいちばん多い真横の写真は、どちらから撮っても同じ写真ですし、右又は左を撮らなければならない場合は、左右を分けて撮っていますからご安心ください。



真横



右椎間孔



左椎間孔

Q 3 小さな子供や胎児に悪影響はないのですか？



小さな子供や胎児は成人に比べて細胞分裂が活発なため放射線に関する感受性が高いですが、その中でもいちばん感受性の高い胎児期（8週から出生まで）に影響が出てくる線量（120mG以上）に比べて、はるかに少ない線量しか使用しませんので放射線による影響はないと考えられます。

※ 最後に

エックス線検査による被ばく量は、暮らしの中で浴びている自然放射線と比べてもそれほど多い量ではありません。どうぞ安心して検査を受けて下さい。そして、不安なことなどがあれば、遠慮なく医師や診療放射線技師にお尋ね下さい。

尚、妊娠の可能性があり不安な場合は、検査の前に医師とご相談下さい。